

システム開発のディーソル、長崎・島原に新拠点 立地協定締結

2025/7/24 17:47 | 日本経済新聞 電子版



調印式に臨んだ（右から）島原市の古川市長、ディーソルHPPの今村勇雄社長、長崎県の大石賢吾知事（24日、長崎県庁）

システム開発などを手がけるディーソル（東京・中央）は長崎県島原市に新たな拠点を設ける。新設したグループ会社のディーソルHPP（島原市）と長崎県、島原市の3者で24日立地協定を結んだ。10月から事業を始め、5年で約100人の雇用を計画する。

ディーソルは全国14拠点でデータ入力やシステム開発などを手がけており、長崎県では長崎市、五島市、佐世保市に拠点がある。島原市では、空き庁舎となっていた市有明庁舎別館内に入居する。

調印式で島原市の古川隆三郎市長は「（島原に）『戻りたいけど仕事がない』と若い人から言われていた。今回の進出を足がかりとして、さらに若者の雇用に応えるまちづくりを進めたい」と話した。

【関連記事】[ディーソル、長崎総合科学大学とデジタル農業の技術開発](#)

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は、日本経済新聞社またはその情報提供者に帰属します。また、本サービスに掲載の記事・写真等の無断複製・転載を禁じます。